

EUROPEAN PATENT OFFICE

Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER : 11175637
PUBLICATION DATE : 02-07-99

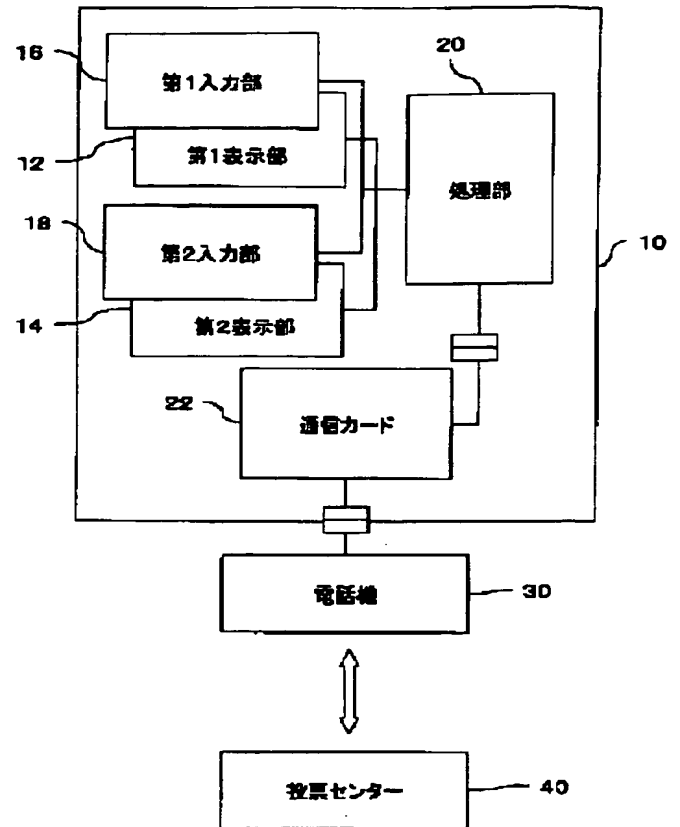
APPLICATION DATE : 05-12-97
APPLICATION NUMBER : 09336079

APPLICANT : KUROSAKI YUUJI;

INVENTOR : KUROSAKI YUUJI;

INT.CL. : G06F 19/00 G07C 13/00

TITLE : TELEPHONE BETTING TERMINAL
EQUIPMENT AND TELEPHONE
BETTING SYSTEM



ABSTRACT : PROBLEM TO BE SOLVED: To easily input the contents of a bet.

SOLUTION: First and second touch type input parts 16, 18 are formed on the surfaces of 1st and 2nd display parts 12, 14. At the time of inputting the contents of a bet, a mark sheet type betting card is displayed on the 2nd display part 14. The contents of the bet are inputted by touching the betting card with a pen or the like.

COPYRIGHT: (C)1999,JPO

THIS PAGE BLANK (USPTO)

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-175637

(43) 公開日 平成11年(1999) 7月2日

(51) Int.Cl.⁶

識別記号

F I

G 0 6 F 19/00

G 0 6 F 15/28

A

G 0 7 C 13/00

G 0 7 C 13/00

B

審査請求 未請求 請求項の数9 O L (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願平9-336079

(22) 出願日 平成9年(1997)12月5日

(71) 出願人 597170391

黒崎 悠爾

東京都渋谷区本町4-44-1

(72) 発明者 黒崎 悠爾

東京都渋谷区本町4-44-1

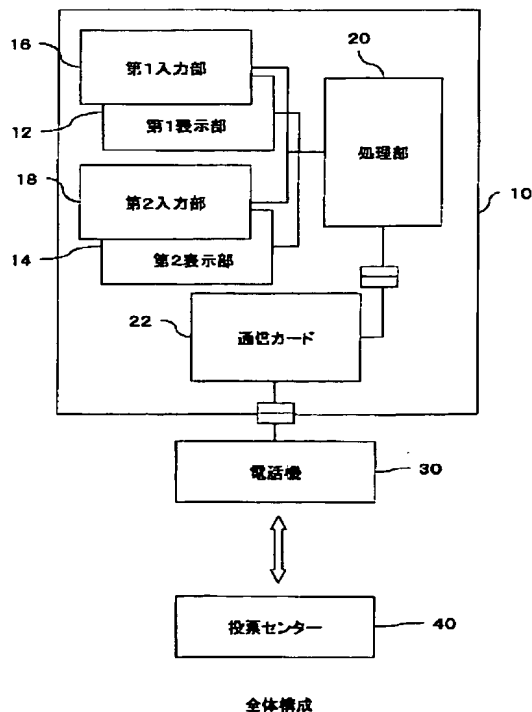
(74) 代理人 弁理士 吉田 研二 (外2名)

(54) 【発明の名称】 電話投票端末装置及び電話投票システム

(57) 【要約】

【課題】 投票内容の入力を容易にする。

【解決手段】 第1、第2表示部12、14の表面上には、タッチ入力形式の第1、第2入力部16、18が形成されている。そして、投票内容の入力の際には、第2表示部14にマークシート形式の投票カードを表示する。そして、このマークシート形式の投票カードにペンなどでタッチすることで、投票内容を入力する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 電話回線を通じて、投票センターと接続し、投票を行う電話投票端末装置であって、投票内容についての表示を行う表示部と、この表示部の表面へのタッチを検出してデータ入力を行うタッチ入力部と、

を含み、

上記表示部にマークシート形式の投票用紙を表示し、表示された投票用紙へのタッチを検出することにより投票内容を入力することを特徴とする電話投票端末装置。

【請求項2】 請求項1に記載の装置において、上記表示部は、2つの独立した表示部分から構成されており、両者の中間部を中心として、折り畳み可能であることを特徴とする電話投票端末装置。

【請求項3】 請求項2に記載の装置において、上記2つの独立した表示部分の一方にマークシート形式の投票用紙を表示し、他方に投票対象についての情報を表示することを特徴とする電話投票端末装置。

【請求項4】 請求項1～3のいずれか1つに記載の装置において、電話投票端末装置は、電話機本体とは別体として形成されていることを特徴とする電話投票端末装置。

【請求項5】 請求項4に記載の装置において、電話投票端末装置は、電話機本体との間で通信を行うインターフェースとして機能する通信カードを内蔵しており、この通信カードが取り替え可能であることを特徴とする電話投票端末装置。

【請求項6】 請求項1～5のいずれか1つに記載の装置において、電話投票端末装置は、公営競技の投票券についてのマークシートを表示し、投票を行うことを特徴とする電話投票端末装置。

【請求項7】 請求項1～6のいずれか1つに記載の装置において、電話投票端末装置は、車両のナビゲーション装置を利用して構成されることを特徴とする電話投票端末装置。

【請求項8】 電話投票端末装置を電話回線を通じて投票センターと接続し、電話投票端末装置から投票を行う電話投票システムであって、

上記電話投票端末装置は、

投票内容についての表示を行う表示部と、

この表示部の表面へのタッチを検出してデータ入力を行うタッチ入力部と、

を含み、

上記表示部にマークシート形式の投票用紙を表示し、表示された投票用紙へのユーザのタッチを検出することにより投票内容を入力し、これを電話回線を通して投票センターに送信し、

投票センターにおいて、送信されてきた内容を投票として処理することを特徴とする電話投票システム。

【請求項9】 投票内容についての表示を行う表示部と、この表示部の表面へのタッチを検出してデータ入力を行うタッチ入力部とを含む電話投票端末装置に、電話回線を通じて、投票センターと接続し、投票を行わせる投票プログラムを記録した媒体であって、該プログラムは、

上記表示部にマークシート形式の投票用紙を表示させ、上記タッチ入力部に表示された投票用紙へのタッチを検出させ、投票内容を取り込ませることを特徴とする電話投票プログラムを記録した媒体。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】本発明は、電話回線を通じて投票センターと接続し、投票を行う電話投票端末装置及びこれをを用いた電話投票システムに関する。

【0002】

【従来の技術】従来より、競馬などに勝ち馬投票等の公営競技における投票について、電話を介してのオンライン投票システムが提案され、一部実用化している。このオンライン投票システムには、通常のコンピュータに投票のアプリケーションプログラムをインストールして行うタイプや、PHS（パーソナル・ハンディ・フォン・システム）にアプリケーションプログラムをインストールしておき、このPHSを利用するタイプなどがある。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかし、コンピュータを利用するシステムでは、他のデータ処理なども行えるという利点はあるが、装置が大型であり携帯には向かないという問題がある。また、投票内容の入力は、各種データを直接キー入力したり、マウスやカーソルで選択して入力するが、なれるまではその入力が煩雑であるという問題があった。また、PHSを用いるシステムでは、テンキーのみの操作であり、入力操作などに手間がかかり、また画面が小さくて表示が見づらいという問題があった。さらに、投票の内容についての入力作業を行うときに、表示を順次切り替えながら行わなければならない、投票内容の入力が煩雑であるという問題点があった。

【0004】本発明は、上記問題点を解決することを課題としてなされたものであり、投票内容の入力が容易な電話投票端末及びこれをを用いた電話投票システムを提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明は、電話回線を通じて、投票センターと接続し、投票を行う電話投票端末装置であって、投票内容についての表示を行う表示部と、この表示部の表面へのタッチを検出してデータ入力を行うタッチ入力部と、を含み、上記表示部にマークシート形式の投票用紙を表示し、表示された投票用紙へのタッチを検出することにより投票内容を入力することを特徴とする。このように、マークシート形式の投票カー

ドが画面上に表示される。そして、この表示にタッチすることで、投票内容を入力できる。例えば、競馬の勝ち馬投票の場合には、実際の馬券にマークするのと全く同じ感覚で、投票内容の入力が行える。なお、その他の公営競技についての投票についても同様に行うことができる。また、画面に投票券を全て表示しなくてもよく、その場合には、画面のスクロールにより必要な部分を表示すればよい。

【0006】また、本発明は、上記表示部は、2つの独立した表示部分から構成されており、両者の中間部を中心として、折り畳み可能であることを特徴とする。画面は、1つとすることもできるが、独立したものを2つ設けると、操作性が向上する。すなわち、画面の2つ設けることで、上部画面を情報系、下部画面を投票系等と役割を分けることもできる。また、2つの画面の真ん中を境に折り畳める構成としたため、全体として、コンパクトになり、携帯に便利なものにできる。

【0007】また、本発明は、上記2つの独立した表示部分の一方にマークシート形式の投票用紙を表示し、他方に投票対象についての情報を表示することを特徴とする。このため、一方にオッズなどを表示し、これを参考にしながらの投票を容易に行うことができる。

【0008】また、本発明は、電話投票端末装置は、電話機本体とは別体として形成されていることを特徴とする。電話投票端末装置内に電話機本体を内蔵することもできるが、両者を別体とすることも好適である。電話機本体と電話投票端末装置とをコネクタなどを介し接続することで、容易に投票を行うことができる。また、投票端末装置を取り外せば、電話機本体は通常通り使用できる。

【0009】また、電話投票端末装置は、電話機本体との間で通信を行うインターフェースとして機能する通信カードを内蔵しており、この通信カードが取り替え可能であることを特徴とする。通信カードを取り替えることで、携帯電話、PHSのいずれにも対応することが可能になる。さらに、各種メーカーの電話機にも対応することが可能である。また、ゲームカードなども利用できる。

【0010】また、電話投票端末装置は、公営競技の投票券についてのマークシートを表示し、投票を行うことを特徴とする。このように、競馬、競輪、競艇、オートレースなどの公営競技の投票に好適に利用できる。例えば、競馬であれば、通常の投票券の他、流し／ボックスの投票券などを表示して、これを利用した投票を行うことができる。

【0011】また、本発明は、電話投票端末装置は、車両のナビゲーション装置を利用して構成されることを特徴とする。車両に搭載されているナビゲーション装置は、ディスプレイ、コンピュータなどを有しており、さらに電話機を接続し、情報検索などを行えるようなものも提案されている。このようなナビゲーション装置にお

いて、ディスプレイにマークシートを表示し、所定の入力を行うことで、投票を行うことができる。また、ナビゲーション装置は、ガイド音声の出力手段を有する場合が多く、この場合は、操作ガイドや確認音声を出力することが好適である。

【0012】また、本発明は、電話投票端末装置を電話回線を通じて投票センターと接続し、電話投票端末装置から投票を行う電話投票システムであって、上記電話投票端末装置は、投票内容についての表示を行う表示部と、この表示部の表面へのタッチを検出してデータ入力を行うタッチ入力部と、を含み、上記表示部にマークシート形式の投票用紙を表示し、表示された投票用紙へのユーザのタッチを検出することにより投票内容を入力し、これを電話回線を通して投票センターに送信し、投票センターにおいて、送信されてきた内容を投票として処理することを特徴とする。

【0013】また、本発明は、投票内容についての表示を行う表示部と、この表示部の表面へのタッチを検出してデータ入力を行うタッチ入力部とを含む電話投票端末装置に、電話回線を通じて、投票センターと接続し、投票を行わせる投票プログラムを記録した媒体であって、該プログラムは、上記表示部にマークシート形式の投票用紙を表示させ、上記タッチ入力部に表示された投票用紙へのタッチを検出させ、投票内容を取り込ませることを特徴とする。プログラムは、端末装置内のROMなどの記録され、実行される。また、CD-ROMやハードディスクに記録しておくことも好適である。さらに、CD-ROMやフロッピーディスクに記録したプログラムを端末装置にインストールすることも好適である。また、プログラムを通信でダウンロードすることも好適である。この場合、投票センターがプログラムを提供するとよい。特に、プログラムのバージョンアップは通信で行うことが好適である。

【0014】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態（以下実施形態という）について、図面に基づいて説明する。なお、本実施形態に係る電話投票端末は、競馬についての投票を行うものであるが、本発明はこれに何ら限定されるものではなく、各種公営競技の投票などに好適に適用される。

【0015】図1は、本実施形態のシステム構成を示すブロック図であり、端末装置本体10は、LCD（液晶ディスプレイ）やCRT（陰極線管）などからなる第1表示部12、第2表示部14を有している。また、この第1表示部12、第2表示部14の表面には第1入力部16、第2入力部18が形成されている。この第1、第2入力部16、18は、タッチパネルで構成されている。

【0016】この第1、第2表示部12、14及び第1、第2入力部16、18には、CPU、ROM、RA

Mなどを含む処理部20が接続されている。この処理部20は、ROMなどに記憶されているプログラムを実行して、第1、第2表示部12、14における各種表示を制御する。また、第1、第2表示部12、14に表示した状態でペンなどにより、第1表示部12、第2表示部14の表面(すなわち、第1、第2入力部16、18)を押圧することで、第1、第2入力部16、18による表示に対応した入力データを処理部20が取り込む。また、この処理部20は、入力データの編集や、電話通信によるデータ送受信のための各種処理も行う。

【0017】処理部20には、モデムなどを内蔵する通信カード22が接続されている。ここで、この通信カード22はスロットに差し込むことによって処理部20と接続されており、スロットに抜き差しすることで、通信カード22を取り替えることができる。

【0018】さらに、通信カード22には、外部の電話機30との接続用のコネクタも設けられており、このコネクタを介し通信カード22が外部の電話機30と接続される。通信カード22は、電話機30におけるダイヤリングなどの操作についての信号を電話機30に伝えるとともに、モデムを内蔵しており電話機30を介したデータ通信のために必要な変復調の処理も行う。

【0019】そして、通信カード22を携帯電話用、PHS用など複数種類用意し、これを取り替えることによって、接続する電話機30の種類を選択できる。さらに、通信カード22に代えて、ゲーム用のカードなどを接続することで、電話投票端末装置を利用してゲームを楽しむこともできる。

【0020】携帯電話やPHS等の電話機30は、コネクタを介し通信カードに接続される。端末装置本体10に設けられたコネクタと、電話機30のコネクタを直接差し込み接続することが好ましいが、ケーブルで接続してもよい。そして、この電話機30は、電話回線により投票センター40に接続される。すなわち、電話機30に設けられているアンテナを利用して、無線基地局と無線通信を行い、無線基地局、交換局を介し、電話機30と投票センター40の電話回線が接続される。

【0021】投票センター40は、例えば競馬投票を取り扱うセンターであり、ユーザ番号によりユーザを特定し、送られてくる投票内容(馬券購入についてのデータ)を取り込む。そして、馬券購入代金の銀行口座からの引き落としや、当たり馬券についての配当金の銀行口座への振り込みなどを行う。さらに、各レースについての馬体重、オッズ等の情報提供も行う。なお、ユーザとの接続の際には、パスワードのやりとりなど通常のオンラインサービスで行われる処理も行う。

【0022】次に、このようなシステムに動作を、競馬の勝ち馬投票券の購入を例として説明する。

【0023】「初期画面」まず、システムが立ち上がると、図2に示すようなマークシート形式の投票カードが

第2表示部14に表示される。この第2表示部14は、字の方向からしてユーザに近い下部画面である。この際、投票カードの右側に各種のボタンが表示され、処理を選択することができる。また、上部画面には、サービスの名前などを表示するとよい。また、現在メモリしている投票要項についての情報を表示することも好適である。なお、下部画面には、最初にメニュー画面を表示しておき、どの画面表示を行うかを選べるようにしてもよい。なお、投票カードに入力の数字等にタッチした場合には、鉛筆などでチェックしたのと同様に黒線のマークが表示される。

【0024】「ユーザ設定」ユーザ設定を選択すると、上部画面にユーザ設定画面が表示され、加入者番号、暗証番号など加入者の設定操作や、携帯、PHS等の別、接続速度(通信速度)の設定が画面のタッチにより行える。また、暗証番号の自動入力の設定や、入力金額の初期値の設定の要否や金額の設定なども行うことができるようになっている。

【0025】「投票要項の取得」投票等の取得を選択すると、まず確認用の画面が表示され、確認の入力がなされた場合には、各競馬場毎のレース施行情報、レース毎の出走頭数、現在の口座残高の取得が行われる。これは、投票センターに電話接続して行われる。なお、この操作を行わない場合には、前回取得時の情報が引き継がれる。

【0026】「投票」投票動作について、図3を参照しながら説明する。まず、投票カードの種類を選択する(S11)。すなわち、下部画面に図2の表示がある状態で、投票カードまたは流し/BOXのボタンをタッチすることで対応するカードが表示される。通常の投票カードを選択する場合には、ボタンタッチによる入力動作を省略することもできる。これによって、式別、場名の入力欄がハイライト表示され、カード場のそれ以外のエリアが非アクティブ状態の暗い表示になる。そして、場名について、入手した情報により選択可能なもののみをハイライト表示する(選択できない場名の表示を薄くし選択不可にする)ことで、選択可能な競馬場を表示する(S12)。一つの競馬場のみが選択可能であれば、入力を省略することもできる。そして、ペンタッチにより、ユーザが式別、競馬場を入力する(S13)。この入力により、レース番号もハイライト表示され、ユーザがレース番号をペンタッチにより入力する。選択できないレース番号については、表示を薄くし、選択不可とする。また、前日発売のボタンタッチにより前売りの入力も可能である。なお、タッチ選択された項目については、マークシートに黒の表示が入る。これは実際にペンで書いた場合と同様のイメージである。

【0027】なお、表示部の大きさによっては、マークシートを全体として表示できない場合もある。このような場合には、入力に関わる部分についてのみ表示し、順

次画面をスクロールするとよい。この場合にもマークシートに対するタッチにより、入力が行える。

【0028】このようにして、どのレースかが特定された場合には、枠番馬番の入力を行う(S14)。この場合、投票カードの枠番・馬番及び金額の欄をハイライト表示する。式別が決定されているため、数字のタッチにより、枠番または馬番の入力が行える。枠番・馬番の入力後、金額を入力する(S15)。ユーザ設定において、金額が自動的に選択される。また、カードの上部に合計金額を表示する。なお、取り消しをタッチすることで、入力内容を初期化する。また、最初の入力の時は、1段分だけをハイライト表示する。そして、入力点数を増やすことで、ハイライト表示されている部分を順次増加させる。さらに、上の段の入力内容の取り消しがなされた場合には、入力内容を上にシフトする。

【0029】また、S11において、流し、ボックスが選択された場合には、流し/BOXの投票カードが表示され、上述の同様の手順で、競馬場、式別、レース番号、枠番・馬番、金額の入力が行われる(S16～S18)。なお、式別は、枠連または馬連である。

【0030】ここで、さらに別の投票を行う場合には、再度投票カードまたは流し/ボックスのボタンをタッチする。これによって、2枚目の投票カードが表示され、同様に投票内容の入力が行われる。この場合、図4に示すように、投票カードの上部に枚数に対応した1、2、3・・・という数字が四角の枠内とともに表示され、何枚目のカードが表示されているかを枠の明るさで示す。また、この枠をタッチすることで、対応するカードの表示に切り替えられる。この例では10枚まで投票内容の入力、表示が行える。なお、用紙削除ボタンを設け、ここをタッチすることで、その投票カードを削除できるようにするとよい。

【0031】そして、このようにしてS15またはS18において、投票内容が決定された場合には、投票ボタンをタッチすることで、電話機30により投票センター40と接続され、入力されたデータが送信され、投票が行われる。投票センター40との通信終了後投票結果を表示する(S19)。この表示は、投票内容と、受付番号、受付日時などの表示とする。また、回線切断など、異常終了した場合には、その理由などを表示する。

【0032】「情報の取得」板画面で情報取得ボタンをタッチすると、上画面に競馬場、レース番号の表示と共に、オッズ取得、オッズ表示、結果取得、結果表示のボタンが表示される。オッズ取得ボタンまたは結果取得ボタンを選択し、競馬場及びレース番号を選択することで、接続ボタンが選択可能になる。そして、接続ボタンを選択することで、必要な情報を投票センター40から取得する。オッズ表示ボタン、結果表示ボタンをタッチし、競馬場及びレース番号を選択することで、予め取り込んである該当するオッズや、結果の表示が行われる。

【0033】「オッズ投票」上画面に表示されているオッズの値を選択することで、通常の投票カードの選択内容の買い目が自動入力される。すなわち、上画面のオッズの中で買い目のオッズをタッチすると、下画面に該当する競馬場、式別、レース番号、買い目がマークされる。

【0034】また、オッズ表示の上部にある単複、枠連、馬連、流し、ボックスなどの種別をタッチすることで、そのオッズの表示に切り替えられる。流しでは、馬番を指定して、その馬がらみの連勝オッズを表示する。

【0035】図5にオッズ投票の手順を示す。まず、オッズ取得の操作により、投票センターから指定したレースのオッズを取得する(S31)。そして、オッズ表示により、表示すべきレースを選択する(S32)。これによって、選択されたレースのオッズが表示される。そして、オッズ場の買い目を指示する(S33)。これらの操作は上画面で行う。

【0036】下画面には、投票カードが表示されており、この投票カードに入力用のスペースがなかったり、異なるレースの投票カードである場合には、新しいカードを表示する(S34)。そして、選択されたオッズの買い目をカードに記入する(S35)。

【0037】このようにして、買い目の入力が完了するため、金額を入力する(S36)。なお、この段階における上画面のボタンの操作により、S31～S33に戻ることができる。そして、投票ボタンのタッチにより投票センターに接続し、投票を行う(S37)。投票が終了し、回線を切断した場合には、投票結果を表示する(S38)。

【0038】「その他」投票内容は、2日分保持し、投票センターからの受付番号で管理する。受付番号を選択することで、その受付番号の内容の詳細を購入馬券のイメージで表示する。また、投票センターに投票した内容を1日前の分まで、検索し表示することもできる。レース確定後であれば、的中額も表示する。さらに、投票受付番号を内部的に保持し、再度読み出し表示を可能としている。

【0039】また、投票センターに接続中に回線が切れた場合には、送信内容をチェックする。すなわち、直前の投票内容を投票センターより取得し、内部のデータと比較、照合する。そして、投票がなされていないと判断された場合には、自動的に再投票を行う。

【0040】「外観」本端末装置の外観の模式図を図6に示す。図6(A)は装置を開いたときの模式図であり、図6(B)は折り畳んだ時の図である。このように、画面が2つある。そして、2つの画面の接続部分が回動自在になっており、全体として2つ折りできるようになっている。さらに、本体の側部にコネクタが設けられており、電話機30を直接はめ込めるようになっている。また、タッチ入力用のペンも収容できるように凹部

24も形成されている。

【0041】なお、図6においては、電話機30を直接端末装置に接続されるように図示したが、ケーブルを利用して電話機30に接続することも好適である。ケーブルを使用すれば、ほとんどの電話機に接続が可能である。また、携帯電話やPHSではない通常の電話機に接続してもよい。さらに、電話機を端末装置に内蔵してもよい。

【0042】「実施形態の効果」以上のように、本実施形態によれば、マークシート形式の投票カードが画面上に表示される。従って、実際の馬券にマークするのと全く同じ感覚で、投票内容の入力が行える。また、通信カードを取り替えることで、各種の電話機に対応できる。また、画面の2つ分け、上部画面を情報系、下部画面を投票系としたため、オッズなどを参考にしながらの投票を容易に行うことができる。さらに、2つの画面の真ん中を境に折り畳める構成としたため、全体として、コンパクトになり、携帯に便利なものにできる。

【0043】「変形例等」また、イヤフォンなどを接続可能として、音声による操作ガイドや、操作確認などを行うことも好適である。

【0044】さらに、ゲーム機能を設け、競馬投票ゲームなどを行うこともできる。この際、競馬場名、馬名、馬体重、オッズ等の条件を全て取り込んだデータとし、模擬レースを行い、配当などを出すことが好適である。これによって、実際レースに即した条件でのゲームが行える。

【0045】上述の例では、端末装置と、電話機を別体としたが、端末装置内に電話機を内蔵してもよい。

【0046】1画面とした場合には、その画面内において、表示を上下に2分割とし、上述したような表示を行うことが好ましい。しかし、画面が小さい場合には、スクロールした表示切り替えて、他の画面を表示してもよい。

【0047】さらに、上述の例では、競馬への適用について記載したが、競輪、競艇、オートレースなどの公営競技の投票にも同様にして適用が可能である。

【0048】また、テレビジョン受信機としての機能を備えれば、テレビ放送の画面を見ることができ。従って、投票後に、レースの模様を画面上で見ることができ。さらに、ラジオ放送を受信し音声出力することもできる。

【0049】また、車両用のナビゲーション装置におい

て、本端末装置の機能を備えることも好適である。車両用のナビゲーション装置は、現在位置検出のためのGPS受信機や、地図データベース、ディスプレイ、スピーカ及びデータ処理用のコンピュータなどを有している。そして、ディスプレイの前面には、タッチパネルが設けられ、ディスプレイに対するタッチにより入力が行える。

【0050】そして、ナビゲーション装置は、地図上に現在位置を表示すると共に、目的地を設定する場合には、最適経路探索も行う。さらに、目的地を設定した走行においては、設定経路を常時表示すると共に、右左折する交差点などでは、表示及び音声で経路案内を行う。さらに、携帯電話機などを利用して、外部のデータベースにアクセスし各種の情報を取得するシステムも提案されている。

【0051】このようなナビゲーション装置の地図データベース用のCD-ROMやDVDなどに本端末用のプログラムを記録すれば、上述のような投票についての処理がそのまま行える。すなわち、マークシートをディスプレイに表示し、ディスプレイ（タッチパネル）をタッチすることで、入力が行われる。そして、入力内容を電話機を利用して投票センターに送信し、投票が行える。また、各種情報の入手も同様にして行える。なお、ナビゲーション装置を携帯端末することもできる。

【0052】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、マークシート形式のマークシート形式の投票カードが画面上に表示される。従って、実際の馬券にマークするのと全く同じ感覚で、投票内容の入力が行える。

【図面の簡単な説明】

【図1】 システムの全体構成を示す図である。

【図2】 投票カードの初期画面を示す図である。

【図3】 標準の投票の手順を示すフローチャートである。

【図4】 流し、ボックスの投票手順を示すフローチャートである。

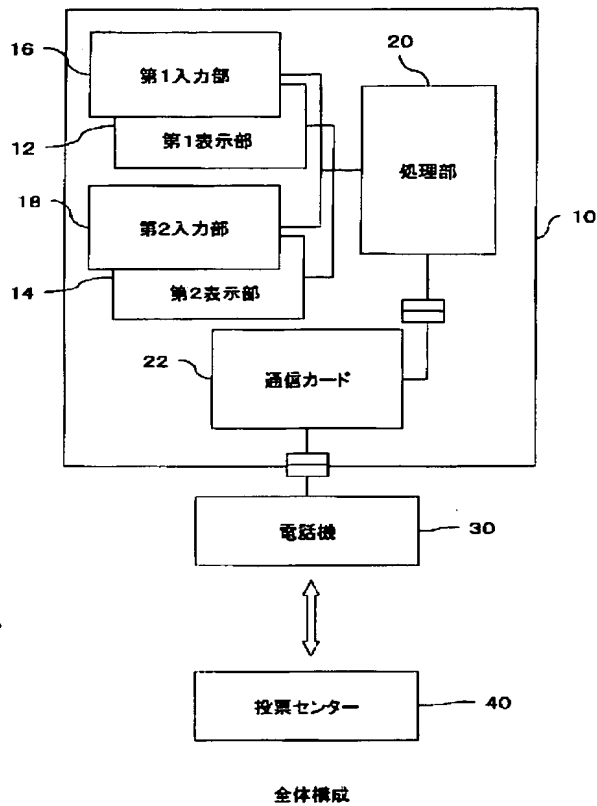
【図5】 投票カード画面を示す図である。

【図6】 装置の外観を示す図である。

【符号の説明】

10 端末装置本体、12 第1表示部、14 第2表示部、16 第1入力部、18 第2入力部、20 処理部、22 通信カード、30 電話機、40投票センター。

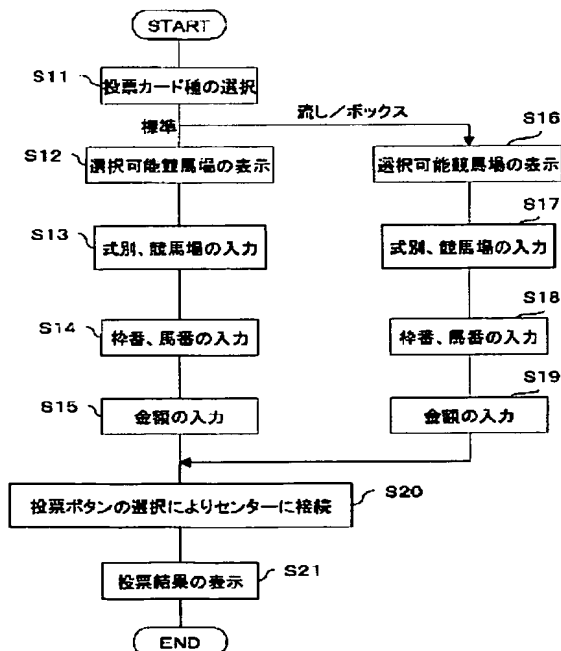
【図1】



【図2】

Figure 2 shows a screenshot of the voting card interface. It displays a grid of numbers (0-9) for selection. The interface includes a title bar "投票カード (馬場/競馬/競艇/競輪/競馬)" and a sidebar with buttons: "ユーザー設定", "競馬設定", "投票カード", "競馬/BOX", "カード削除", "レース情報", "投票内容表示", "入力履歴", "送信チェック", and "投票". The main area shows a grid of numbers with some numbers highlighted in red.

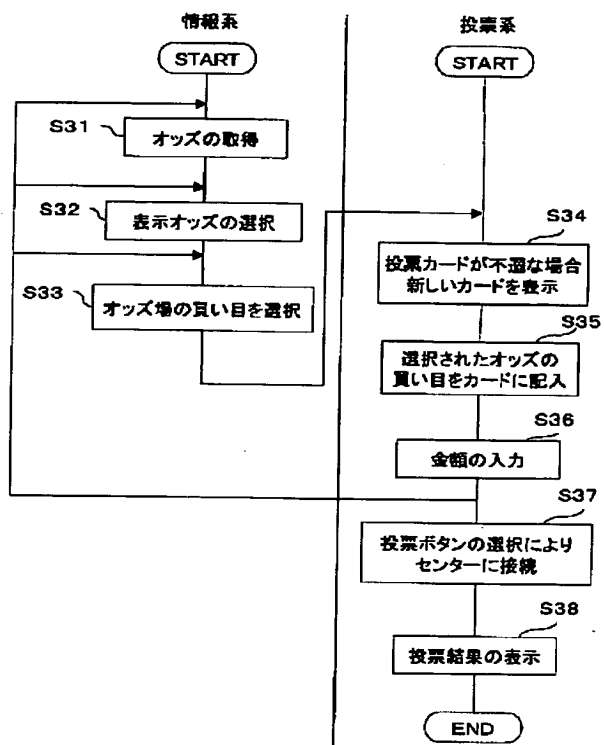
【図3】



【図4】

Figure 4 shows another screenshot of the voting card interface, similar to Figure 2 but with numerical data. The title bar shows "投入金額 23600 購入可能金額 26500 購入点数 28 購入可能点数 272". The main area shows a grid of numbers with some numbers highlighted in red. The sidebar buttons are the same as in Figure 2.

【図5】



【図6】

